



大崎市 農業委員会 だより

【第26号】

令和3年1月1日発行

編集・発行

大崎市農業委員会

〒989-6117

宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号

TEL 0229-21-0577

FAX 0229-22-8045

e-mail: nougyo@city.osaki.miyagi.jp

謹賀新年



元気な子牛「しいな」と「りんご」ちゃん



チャレンジ農業女子 (3ページ)

田尻地域 川名さん夫妻

(正喜さん、志穂さん)

農地等の利用の最適化に向けて

大崎市農業委員会 会長 佐々木 政直



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申しあげます。

旧年中は農業委員会活動に格別なるご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年のお稲作は、七月の長雨や八月の猛暑により、収量・品質共に心配されました。

たが、本市を含む県北部の水稲の作況指数が一〇二となり、豊穰の秋を実感し安堵したところであります。

しかし一方で、新型コロナウイルスの感染拡大により、日本中、そして、世界中が一つになり盛り上がるはずだった東京オリンピックの開催が本年に延期となり、さらには国内の地域経済は元より、多くの農業者の経営にも甚大な影響が及んだ一年でありました。

さて、私たち農業委員会委員は、昨年七月に改選となり、新体制の元、農業委員二十六名、農地利用最適化推進委員二十六名が一丸となって委員会業務を進めて参りました。

その中でも農業生産の基盤であり、地域の貴重な資源である農地を守るために、農業委員、農地利用最適化推進委員は共に手を携え、意欲ある担い手への農地の利用集積や遊休農地の発生防止・解消及び新規参入の推進等の活動が強く求められています。

その実現のためにも、「人・農地プラン」に積極的に取り組み、農業・農村の持続的発展に本年も意欲的に努めて参る所存ですので、市民皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍に翻弄される生活に一日も早く終止符が打たれ、以前のような日常生活が取り戻せるよう、そして益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

市長へ農業振興策に関する政策提案書を提出



大崎市農業委員会は、農業委員・農地利用最適化推進委員を始め、担い手との座談会や一日女性農業委員会でいただいた意見を集約し、昨年十月二十九日「大崎市長に対する政策提案」として次の六項目を、大崎市長に提出いたしました。

- ① 農地中間管理機構との連携、強化
- ② 農地の有効利用・遊休農地解消対策
- ③ 新規就農者の確保・担い手の育成対策
- ④ 女性農業者が活躍できる環境づくり
- ⑤ 有害鳥獣駆除対策
- ⑥ その他（防災減災対策、食農教育と地産地消の推進）

農地等利用状況調査を実施

遊休農地や農地の無断転用の実態を把握するため、昨年八月から十一月にかけて農業委員、農地利用最適化推進委員による農地等利用状況調査を実施しました。調査の結果、新たな遊休農地や、農地法の許可を受けずに宅地や資材置場などに利用している無断転用として確認された農地もありました。

農業委員会は、健全な農地の維持と有効活用を図るため、今後、該当農地の所有者・使用者への指導を行うほか、無断転用についても併せて指導を行ってまいります。

農地に関する貸借や売買、転用などについてはお気軽に地域の農業委員、農地利用最適化推進委員にご相談ください。



水稻作況調査を実施

大崎市農業委員会は、昨年九月十四日に市内各地域の水稻作況の実態を把握するため、農業委員が調査を実施しました。

各地域の圃場九ヶ所（内直播圃場一ヶ所）を、刈り取り前のもみの実り具合を確かめる「検見」という方法で、調査を行いました。

天候や気温に恵まれ、台風災害等を受けることもなかったため、全体的に前年以上の増収の予想結果となりました。



第5回農業委員会大会で受賞

昨年、11月13日に開催された第5回宮城県農業委員会大会において、長年の活動実績が認められ大崎市農業委員会から5名の農業委員が、また2名の退任委員が受賞されました。

受賞者

【宮城県農業会議会長表彰】

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 佐々木 政直 氏（農業委員） | 熊谷 安正 氏（農業委員） |
| 齋藤 浩義 氏（農業委員） | 中鉢 守 氏（農業委員） |
| 菅原 ひろみ 氏（農業委員） | 鈴木 俊通 氏（前農業委員） |
| 土井 幸信 氏（前農地利用最適化推進委員） | |



代表で表彰される佐々木政直会長

一日女性 農業委員会開催

昨年十一月十六日、「令和二年度一日女性農業委員会」が大崎市役所東庁舎大会議室において開催されました。例年ですと年二回の開催ですが、新型コロナウイルスの影響で今年は一回の開催となりました。

出席者は市内各地より推薦された方、大崎管内にある農業高校の生徒、宮城県農業大学の学生、合わせて二十五名の女性の方々でした。



はじめに、農業委員会の佐々木会長より、一日女性農業委員の委嘱状が交付され引き続き議案審議を行い、審議中は専門的な用語もあり、委員の皆さんが困惑する場面もありました。

審議後は、美里町「菜園レストラ



ン「野の風」代表 伊藤恵子氏による「私の六次化」と題した講演がありました。

伊藤氏から、自身が大きな病気にかかり、その時人生は一度きり、やりたい事「六次化」への夢を追うと決意されたこと、野菜直売所から始まり、「みそ焼きおにぎり」や「すいとん」が飛ぶように売れたこと、努力とアイディア、人とのつながりで農家レストラン「野の風」を立ち上げた話をお聞きしました。

昼食は、「野の風」のボリウム満点のお弁当を美味しく頂き、午後からは、「農業に対する女性の思い」をテーマに、グループ毎に意見交換を行いました。

各委員からは「女性が農業で自立するには資金が必要」「支援や助成が受けたいのだが手続きが分からない」「行政への不満」などの意見をいただきました。

最後に何人かの参加者に「農業委員会って知っていますか？」という質問をしてみました。ほとんどの方が「知らなかった」との答えでしたが、これを機に女性の方や地域の方々知られるような農業委員会にしていきたいと思えます。

※後援「みやぎアグリレイディス21」
櫻井 正幸 委員



チャレンジ農業女子

田尻地域 川名 志穂さん



ル、和牛繁殖牛二十一頭、育成牛四頭、子牛四頭です。

問 今ままで大変だったことは？

答 田んぼは機械の操作や苗づくり、牛は栄養管理から発情の発見、お産など覚える事がありすぎて大変でしたが、先輩達がいつも助けてくれたので、ここまで続けてこれました。これからも肥育農家さんに好まれる子牛づくり、親の血統など考えながら仕事をしていきたいです。

問 農業に携わるきっかけは？

答 父が一人で農業をしていたのですが、病気になる続ける事が困難となり、旦那と二人で継ぐ事を決めました。現在は、母と祖母との四大家族です。

問 今後の夢は？

答 人工授精を自分でし、お産させ、九ヶ月から十ヶ月育てて市場に出荷する今の仕事はすごくかっこいいなと思つてます。愛情一番で楽しく仕事をしたいと思えます。

問 主な経営内容は？

答 水稲と畜産です。
田んぼは約二・五ヘクタ―

取材 菅原 ひろみ 委員



がんばる農業者

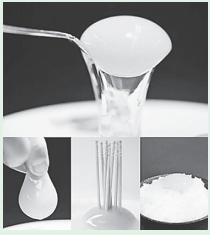
岩出山地域 彦坂祐氏さん



愛知県豊橋市出身。父親の仕事の関係で旧岩出山町に十七歳で移住し、家業の副業である養鶏を一から学び、後継者として頑張っている彦坂祐氏さんを紹介します。

父の養鶏に対する熱心な研究を引き継ぎ、安心安全の有精卵を目指して自然養鶏を実践。

特に、岩出山地区で生産される玄米を主に、松島産牡蠣殻、石巻産魚粉、国産大豆等二十種類の原料を混ぜた自家配合飼料



を与え、風通しの良い広いハウスで、オスメス一緒にの

びのびと平飼い飼育を行い、その鶏たちが生んだ有精卵はプリップリとしてコクがあり、卵かけごはんにはぴったりで。

ニクニク卵黄油も手掛け、そんなこだわりの卵は地元道の駅で販売しています。

また、仲間と一緒に開催するマルシェ(ほっかつがり市)での出店販売や、県内の各種イベントに出店する中で出会った飲食店との取引が始まるなど、販路を拡げ有精卵とともにニクニク卵黄油も大変好評を得ています。

更に、購入したお客さんが生産現場を見学したいと農場へ直接来られる方も年々増えており、ますます品質向上に磨きをかけることに日々精進しているそうです。

広大な敷地と自然の山々に抱かれ、のどかな環境で養鶏に全力を注ぎながら、ひたむきに第二の故郷岩出山を愛し、農業に真剣に向き合っている姿に改めて感動しました。

取材 菅原 まり子 委員



鹿島台地域

「大迫もんきつき保存会」

大迫もんきつき保存会は、現在の鹿島台地域において、元禄六年(一六九三)品井沼の排水路、穴川を掘削する頃からの土木工法「もんきつき」を後世に引き継ぐ為、昭和五十一年三月、旧鹿島台町公民館の館長だった鈴木庄一氏の尽力により「もんきつき保存会(現会長・佐藤喜久氏)」が発足しました。

現会員は二十六名、年一回の練習を中心に、各種イベントや「旧鹿島台第二小学校」の学芸会で披露し、小学校統合後は鹿島台小学校でも歴史と実演指導を行っています。

昔から洪水に悩まされていた鹿島台地域では、決壊した堤防を修復するために地域の人々が力を合わせて行った「もんきつき」。「もんき」とは、基礎杭を打ち込むときに使われる道具のことで、高さ約六mのやぐらに八〇〜一〇〇キロのおもりを吊り下げ、そのおもりを杭に落とし地中深く打ち込んでいく。

ひとつの「もんきに引き」(女子)が両側に八名ずつ引き綱を持ち、打ち込まれる杭が曲がらないように二

名が調節し、杭を運搬する男性二名を含め合計二〇名が協力して作業を行う。

堤防が決壊した時には、川に船を浮かべ、船に乗ってもんきの綱を引っ張ったと言われていて、引きご衆の唄声と共にドスン、ドスンという杭打ちの音が幾日も幾日も響いていたという。

古くから郷土の生活に深く関わってきた「もんきつき」、これからも後世に伝えていって欲しいと思います。



取材 齋藤 真理子 委員

わくわく農業体験!!

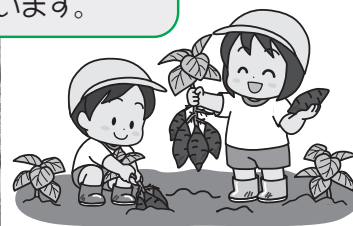


古川地域 大崎市立富永小学校

「大きくなあれ わたしの野菜」 1年生、2年生



サツマイモの苗を寝かせて植えています。



植えたサツマイモの苗にお水をたっぷりあげています。今年もたくさんのサツマイモの収穫ができますように！

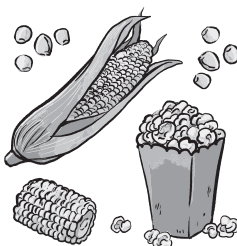


JA古川さんからいただいたサツマイモの苗を、生活科の学習の中で、1年生と2年生が育てています。草取りや水やりなどの作業も頑張っています。収穫がとても楽しみです。

イエローポップの種を畑にまいています。



「はじけろ！イエローポップ」 4年生



4年生はポップコーンの材料になるイエローポップを育てています。収穫したらお家に持ち帰ってポップコーンにして食べます。(家族みんなで食べるのが楽しみです!)



皮をむいたら粒がぎっしり！乾燥させ、ポップコーンにして食べるのが楽しみです。

校訓「強志力行：きょうしりっこう」（強く決意し、精一杯行うこと）を胸に刻み、コロナ禍でいろいろな制約がある中であっても、「ピンチは最大のチャンス」ととらえ、今年度で閉校となる事実を意識しつつ、精一杯の教育活動を展開しております。

地域の皆様、今後ともよろしくお願ひいたします。

大崎市立富永小学校 校長 佐々木 千 早

農地に関するお知らせ

農業委員会窓口で取り扱う、農地に関する申請から許可までの手続きについて

○受付している申請

- ① **農地法第3条申請** 耕作を目的とした農地の売買や貸借等の権利を移動すること
(窓口：農業委員会事務局・各事務所)

要件・農地として耕作できる状況であること
・農地取得後、下記の下限面積要件をみたしていること

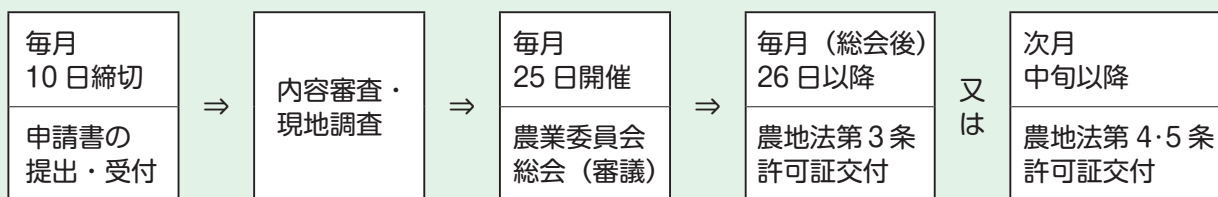
下限面積	対 象
50 a (5,000㎡)	古川・松山・三本木・鹿島台・岩出山・田尻地域の農地
10 a (1,000㎡)	鳴子温泉地域の農地
1 a (100㎡)	大崎市空家バンクに登録された空き家とセットで取得又は賃借する農地

- ② **農地転用申請** 農地を居宅や駐車場・資材置場など農地以外の用途に用いるため、転用を行うこと
(窓口：農業委員会事務局)

- ・農地法第4条 農地の所有者が自分の農地を転用する場合（自己転用）
- ・農地法第5条 農地転用するために売買等による農地の権利移動が伴う場合

※ 農地転用を行う場合は、農地法以外にも農業振興地域の整備に関する法律や都市計画法など、他の法令により規制されている場合があるため、申請に当たっては事前に窓口で相談のうえ申請してください。

○申請から許可まで



※ 締切が土日祝日の場合は直前の平日となります。

○その他 届出

- **現状変更届** 農地の改良行為として、耕作可能な土質による盛土、切土等による農地の現状変更を行うことの届出
(窓口：農業委員会事務局・各事務所)

要件・施工期間は6か月以内
・農業用施設を設置する場合は200㎡未満

- **相続等届出** 農地の権利を相続などで取得したことの届出
(窓口：農業委員会事務局・各事務所)

要件 相続（遺産分割及び包括遺贈を含む）、法人の合併、分割、時効等により農地を取得した方
手続 相続登記後、登記完了証や相続登記済の登記事項証明書など相続を確認できる書面を持参のうえ窓口までお越しください。

大崎市賃借料情報

令和元年10月から令和2年9月までに締結（公告）された農地の賃借借における賃借料水準（10a 当たり）は、以下のとおりです。

大崎市農業委員会

令和2年12月15日

1. 田の部

締結（公告）された地域名			平均額	最高額	最低額
古川地域	基盤整備地域	現金	17,400円	23,300円	9,800円
		物納	77kg	80kg	72kg
	未整備地域	現金	14,100円	28,000円	3,000円
		物納	60kg	60kg	60kg
松山地域	基盤整備地域	現金	15,200円	18,000円	13,000円
		物納	—	—	—
	未整備地域	現金	11,100円	15,000円	10,000円
		物納	—	—	—
三本木地域	基盤整備地域	現金	16,600円	19,000円	14,000円
		物納	60kg	60kg	60kg
	未整備地域	現金	9,600円	19,000円	1,000円
		物納	60kg	60kg	60kg
鹿島台地域	基盤整備地域	現金	14,800円	15,000円	3,100円
		物納	—	—	—
	未整備地域	現金	11,800円	15,000円	1,100円
		物納	60kg	60kg	60kg
岩出山地域	基盤整備地域	現金	11,700円	16,000円	5,000円
		物納	61kg	80kg	50kg
	未整備地域	現金	8,900円	15,000円	1,000円
		物納	55kg	60kg	50kg
鳴子温泉地域	基盤整備地域	現金	—	—	—
		物納	—	—	—
	未整備地域	現金	3,400円	6,500円	1,000円
		物納	—	—	—
田尻地域	基盤整備地域	現金	15,200円	20,000円	13,900円
		物納	—	—	—
	未整備地域	現金	13,700円	15,200円	3,000円
		物納	59kg	59kg	59kg
（参考）大崎市平均		現金	14,300円	—	—
		物納	60kg	—	—

2. 畑の部

締結（公告）された地域名			平均額	最高額	最低額
古川	地域		13,000円	20,000円	3,000円
松山	地域		—	—	—
三本木	地域		5,000円	5,000円	5,000円
鹿島台	地域		4,000円	15,000円	1,000円
岩出山	地域		5,100円	15,000円	2,300円
鳴子温泉	地域		2,400円	5,000円	1,500円
田尻	地域		8,400円	13,000円	5,000円
（参考）大崎市平均			8,200円	—	—

※金額は算出結果を四捨五入し100円単位としています。

※物納は算出結果を四捨五入しています。

農家のみなさんに役立つ 全国農業新聞

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である農業委員会のネットワークが農業者の立場に立って編集・発行している“農家のための情報紙”で紙面も充実しておりますので是非ご購入ください。

◎発行日 毎週金曜日

◎発行所 全国農業会議所

◎購読料 1か月700円

（年間8,400円：送料込）

お申し込み・お問い合わせは、
お近くの農業委員、農業委員会事務局（☎21-0577）までお願いします。

農業者年金はメリットがたくさんある終身年金です!!

メリット1
女性に優しい

メリット2
若年層には手厚い政策支援
(保険料補助)

メリット3
税制面で大きな優遇

■ 農業者年金に加入すれば ～農業者年金の受給額（年額）の試算～

加入年齢	納付期間	保険料納付総額	年金額（年額）		想定される受給総額	
			男性	女性	男性	女性
20歳	40年	960万円	75万円	63万円	1,614万円	1,704万円
30歳	30年	720万円	50万円	42万円	1,071万円	1,131万円
40歳	20年	480万円	30万円	25万円	634万円	670万円
50歳	10年	240万円	13万円	11万円	283万円	299万円

※上のケースは、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.2%となった場合の試算です。
 受給総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92.0歳まで生存した場合の金額です。
 ※運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の17年間（平成30年度まで）の運用利回りの平均は、年率2.82%です。
 ※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和2年度は0.20%となっています。
 ※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

農業者年金加入者の声



古川地域 加藤 憲治 さん

古川地域敷玉地区の加藤憲治さんは5年前に息子さんへ農業経営を移譲し、現在農業者年金を受給しています。家族経営で主に水稲と青シソの周年栽培を軸に経営されており、サポート役となった今でも『やささ王』決定戦への出品や担当の青シソ栽培など精力的に活動なさっています。

国民年金の他に農業者年金にも加入していて良かったと話してくれた加藤さんは、「家の仕事は年中休みがなく忙しいが合間に温泉に行ったり、お孫さんへのお小遣いや好きな趣味をすることに年金を活用し、リフレッシュしながら充実した日々を過ごしている」と笑顔で語り、冗談交じりにもっと掛けておけば良かったと仰っていました。

すでに息子さんも加入されており、老後の生活を充実させる糧の重要性も受け継がれています。

取材 佐々木 俊通 委員

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は、世界中が新型コロナウイルスに翻弄された年になりました。

大崎市の行事も、その多数が中止や縮小を余儀なくされました。

「おおさき古川秋まつり」は新たな形で開催され、事前収録した映像を配信するオンライン形式にするという変革が成されました。

その様な中でしたが、昨年は農業委員、農地利用最適化推進委員が任期満了に伴い、新たに任命・委嘱を受け、新体制がスタートしました。今後益々、皆様のご意見を頂戴したいと思っております。

豊かなこの大地で新年の風を思いきり吸い、新鮮な気持ちで自慢の農作物を今年も作っていきましょう。

鈴木 至

編集：企画広報委員会

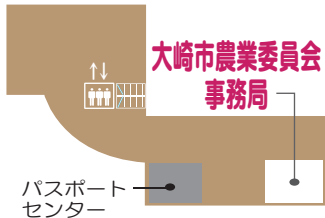
- | | |
|--------------|-----------------|
| 委員 長 布 塚 幸 子 | 副委員長 小野 寺 正 晃 子 |
| 委員 櫻 井 正 幸 | 委員 武 田 俊 美 |
| 委員 齋 藤 真 理 子 | 委員 鈴 木 淳 也 |
| 委員 横 山 淳 也 | 委員 高 橋 英 里 子 |
| 委員 佐 々 木 俊 通 | 委員 菅 原 まり 子 |
| 委員 佐 々 木 俊 通 | 委員 菅 原 至 |

大崎市農業委員会事務局組織機構

農業委員会事務局
(宮城県大崎合同庁舎内)
☎21-0577

- ※農業委員会関係諸証明のほかに下記証明書の交付ができます。
- 住民票
 - 印鑑登録証明書
 - 農耕用機械所有証明書

大崎合同庁舎 2 階



松山事務所
(松山総合支所内)
☎55-4912

鹿島台事務所
(鹿島台総合支所内)
☎56-6510

鳴子事務所
(鳴子総合支所内)
☎82-2026

三本木事務所
(三本木総合支所内)
☎52-5832

岩出山事務所
(岩出山総合支所内)
☎72-1444

田尻事務所
(田尻総合支所内)
☎39-3060